



学校だより

令和4年11月30日
横浜市立豊田小学校
12月号

開く つなげるとともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

豊田小・「地域合同防災訓練」 ～力ある言葉で乗り越える～

学 校 長



(対面式)



(地域防災委員の方々) (栄消防署デモンストレーション)



(3年災害対策用トイレ見学)



(4年防災備蓄庫見学)



(5年水消火器訓練)



(6年AED心肺蘇生訓練)

11月12日(土)豊田小学校の校庭と体育館で、豊田小地域防災拠点運営委員会、栄区役所、栄消防署、栄消防団、豊田小拠点防災委員等の方々とともに、「地域合同防災訓練」が行われました。

この日は、オープンスクールデーとして朝から授業参観が行われ、3、4校時に、大地震を想定した避難訓練を実施しました。地域防災訓練の方々との対面式後、3年生と4年生は、災害対策用トイレ(下水直結型トイレ)と防災備蓄庫を見学しました。5年生は、第2グラウンドで「水消火器訓練」を、6年生は体育館で、「AED心肺蘇生訓練」を行いました。その模様は、地域密着のラジオ局であるFM戸塚が11時から中継しながら放送されました。また、タウンニュースの取材があり後日、記事となります。子どもたちは、この地域防災訓練を見学したり体験したりすることを通して、地域防災に対する意識が大きく高まったようです。

今、注目されている言葉の一つとして、「レジリエンス resilience」という言葉があります。言葉の意味は、不利な状況であるにも関わらず跳ね返す力を意味するようです。日本では、東日本大震災からの復興が、「レジリエンス」として大きく注目されています。

そのような中、思いやりボックスに手紙が入りました。

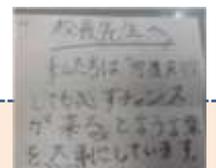
校 長「思いやりボックスへのお手紙ありがとう。ところで、どんなふうにして、

この『何度失敗しても必ずチャンスは来る』という言葉が生まれたのかな。」

児童2人『何か、力がある言葉を一緒につくりたいね。』って、2人で考えました。」

校 長「そうだったんだ。その言葉を大事にして、一緒になって乗り越えていきたいと考えたんだね。」

児童2人「はい。それに、校長先生が、いつも言っている『今がチャンス!』という言葉も力になっています。それを、みんなに知らせたくて、みんなにも頑張ってもらって、思いやりボックスに入れたんです。」(「校長室」での対話)



子どもたちは、未来に生きています。そんな子どもたちと、これからも“ともに”、力ある言葉を大事にして、希望を力強く創り出していきたいと思えます。